学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字
結

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより１２号
令和５年７月１４日発行
文責：校長・副校長

被爆交流証言講話

６月２９日（木）被爆交流証言講話が行われました。交流証言者の山野さんが被爆した方の話を聞いて、代わりに伝えるというもので、テレビ放送での講話でした。

被爆者である、池田道明さんの被爆体験を、スライドを使って分かりやすく、お話していただきました。

山野さんは、高校生からピースボランティアとして被爆遺構巡りのガイド等に取り組み、大学４年の時に交流を深めた被爆者から被爆体験等を聞き取り審査を経て認定される交流証言者としてボランティアで講話をされています。被爆者の方の高齢化により、そのような代わりに話をする証言者の方の存在が、平和を継承していくためには必要になってきます。

今回の講話を聴いて、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを再確認できたのではないでしょうか。実行委員の皆さんも頑張ってくれ、最後に山野さんと記念撮影をしました。

【山野さん】

【山野さんと実行委員】

盲学校との交流会に向けて（１年生）

１年生では、７月４日（火）の道徳の時間に、盲学校の先生に来ていただき、講話とブラインドサッカー体験を行いました。盲学校の生徒さんたちとの交流の前の事前学習となります。アイマスク体験やブラインドサッカー体験を行うことで、目が見えない状態で活動することがどんなに不安で怖いか実感できたと思います。

「知る」ということは、「人の気持ちを理解すること」につながります。知らないことで人を傷つけるようなことがたくさんあります。こういった学習を通して、多くのことを知り、人の心が分かる生徒の育成を目指しています。

盲学校の交流がスタートしますが、１年生にとって良い交流になればいいと思います。

職場体験学習（２年生）

２年生は、７月５日～７日まで職場体験学習を行いました。それぞれの事業所で、３日間、学校では体験できない社会体験です。

本番に至るまで、様々な準備を行いました。打ち合わせの時間のアポを取るための電話は、皆さん緊張しながら練習のとおりにアポを取っていました。また履歴書作成にも苦戦していましたが、何とか仕上げ、本番を迎えました。

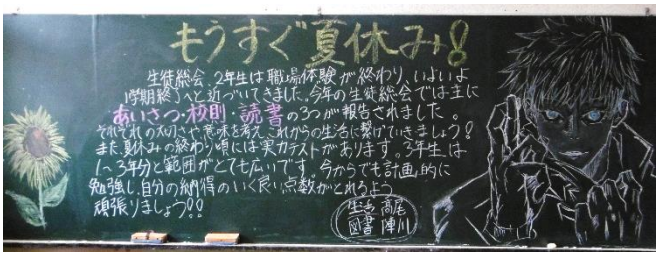
当日は、職場ごとで一生懸命に活動できたようで、得るものも大きかったと思います。これからの人生を考えるための大切な経験となったことと思います。

生徒総会

今年の生徒総会の大きな議題は、「時津中のあいさつを活発にしていきたい」でした。

活発な話し合いの結果、あいさつのレベルが決定しました。

レベル１　声を出す・目線を上げる
レベル２　笑顔で
レベル３　さわやかに
レベル４　相手よりも先に
レベル５　誰にでも

このレベルをすべて達成できるようにみんなでどのような対策を立てればいいか考えました。時中生みんなでこのレベルを達成することができれば、「あいさつが自然と飛び交い」「朝から活気があり」「時津中を元気にし、地域から愛される」学校になっていくということです。目指すは「あいさつ日本一の学校」。

学校・家庭・地域で生徒総会で話し合ったことができるようみんなで取り組んでいきましょう。生徒会役員の皆さん、生徒総会までの準備や本番まで本当にありがとうございました。生徒の皆さんも活発な意見交換ありがとうございました。